



（田島正徳校長）で模擬面接会を開いた。企業経営者の会員22人が面接官役となり、生徒にアドバイスを送った写真。

3年生66人が参加し、志望動機や入社後の抱負などをアピールした。面接官役は「もっと自然に自分の言葉で話してねえん」などと、マンツーマンで指導していた。

同クラブは2006年から毎年、模擬面接会を同校で開いている。

希望する西ロータリークラブを支援（町田伸行会長）は、前橋、前橋市の前橋商業高

（高木大喜）

7次市総合計画 行政評価を協議

県都まえばし創生本部有識者会議

前橋市の施策に助言する「県都まえばし創生本部有識者会議」が、本年度第1回会議を市役所で開いた。2027年度までの10年間をとを報告。「遅れてい

行政情報

前橋

望ましい食生活の在り方や食育について考える健康づくり提唱のついでに、県民会館で「食の大切さ語る」健康づくり講演会

演を通じて食の大切さを学んだ。ヤクルト（東京）広報室の小笠原伸浩参事が「腸から整えるカラダとココロ」と題して講演。脳と腸が互いに影響を及ぼし合う腸腸相関などについて、学術データを



地域猫活動を支援

南ロータリー、砂など寄贈

地域貢献の一環で、伊勢崎市の伊勢崎南ロータリークラブ（小谷野晃良会長）は、NPO法人伊勢崎地域ねこじやらし（木村房枝理事長）に猫用トイレの砂、猫用キャリーケース



など計15万円相当を寄贈した。同法人は、伊勢崎市内で飼い主不在の猫との共生を目指す「地域猫活動」に取り組んでいる。木村理事長は2019年から同市田部井町で飼い主不在の猫の去勢、不妊手術、保護、譲渡などを行う。活動範囲を広げようと、25年1月にNPO法人を立ち上げた。

（丸岡美貴）

演奏や踊りにぎわう

久留馬の里（実行委員会）が、高崎市の箕郷町の榛名高原つり堀センターで開かれた。親子連れやスタッフら33人が、自然を感じながら体験活動を楽しんだ。



久留馬の里 夏祭り

る。新井健司実行委員長は「今年も地域の皆さんの温かいご協力により開催できた。みんな笑顔になれる一日となり、改めて地域の絆の強さを感じた」と振り返った。



留馬小学校の体となり、高もまで幅広い運営に携わ

環境保護活動で 市民100人が清掃

参加者はごみ袋とトンクを手には、ペットボトル、缶などを約1時間にわたって拾い集めた写真。45リットルごみ袋で16袋分のごみを回収した。



親子、ゲームや工作楽しむ

放課後デイ施設初の納涼祭



前橋市内の民間の放課後等デイサービス施設「こどもサクル」の利用者を対象にした納涼祭が、同市昭和町の共愛学園前橋国際短期大学部で開かれた。同施設に通う子どもや保護者らが、ゲームや工作をしながら交流した写真。

未就学児から高校生までが、輪投げやヨーヨー釣り、会場内で注文を受けた弁当を届けるデリバリー体験などを楽しんだ。学生はボランティアとして子どもを支えた。児童発達支援センターのたんぼぼ園（同市江木町）に通所する子どもも招待した。

（北沢彩）

特殊浴槽リニューアル

特別養護老人ホーム「第二光明園」



前橋 特別養護老人ホーム「第二光明園」（前橋市樋越町、浅野春一施設長）は、利用者が入浴するための特殊浴槽を20年ぶりにリニューアルした。設置作業が行われ、介護福祉士ら職員が使用方法などの説明を受けた写真。

北棟の浴槽は2004年に設置され、老朽化していた。新浴槽はタッチパネル式で操作性が向上したという。浅野施設長は「利用者は『気持ち良かった』と新しい風呂を喜んでくれた。故障の心配もなく、職員の負担軽減につながる」と話した。

浴槽のリニューアルは競輪とオートレースを統括する公益財団法人「JKA」の補助事業に採択され、補助金を活用した。

（前原久美代）